

建設経済常任委員会報告事項資料

資料 番号	資 料 名	所 管 課
1	小田原競輪開設70周年記念競輪の結果について	公 営 事 業 部 事 業 課
2	平成30年度小田原地下街「ハルネ小田原」の運営評価について（答申）	経 済 部 商 業 振 興 課
3	市民ホール整備におけるにぎわい廊の進捗状況について	経 済 部 観 光 課
4	北条早雲公顕彰五百年事業等について	
5	小田原漁港交流促進施設の開業等について	経 済 部 水 産 海 浜 課

令和元年9月10日

小田原競輪開設70周年記念競輪の結果について

[開催日：令和元年8月24日（土）から8月27日（火）までの4日間]

1 売上額

区 分	令 和 元 年 度		平 成 3 0 年 度		前 年 度 対 比		
	4日間合計	1日平均	4日間合計	1日平均	4日間合計	1日平均	比 率
本 場	224,683,000円	56,170,750円	230,725,500円	57,681,375円	△ 6,042,500円	△ 1,510,625円	△2.62%
電 話 ・ インターネット	1,398,037,700円	349,509,425円	1,347,456,400円	336,864,100円	50,581,300円	12,645,325円	3.75%
場 外	3,254,335,500円	813,583,875円	3,579,577,200円	894,894,300円	△ 325,241,700円	△ 81,310,425円	△9.09%
計	4,877,056,200円	1,219,264,050円	5,157,759,100円	1,289,439,775円	△ 280,702,900円	△ 70,175,725円	△5.44%

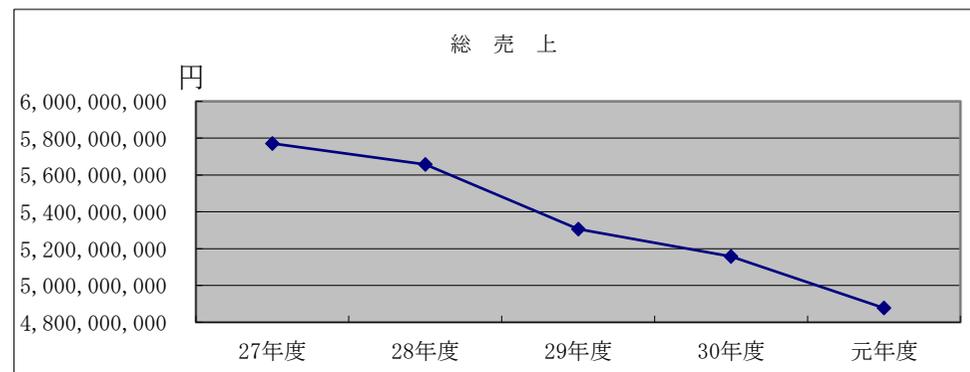
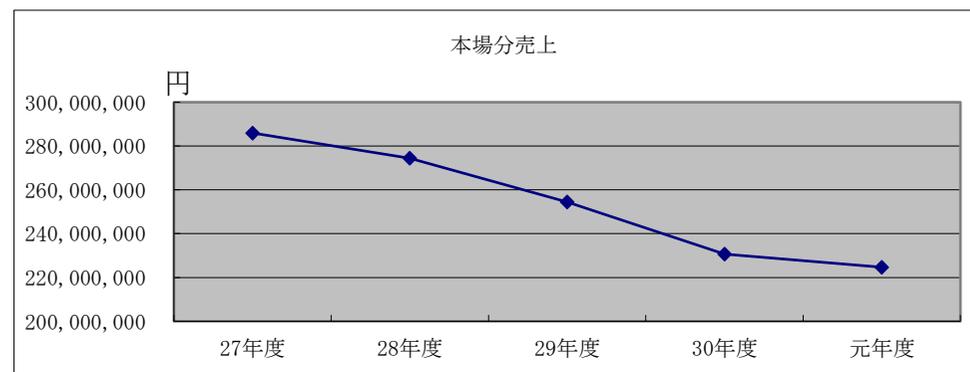
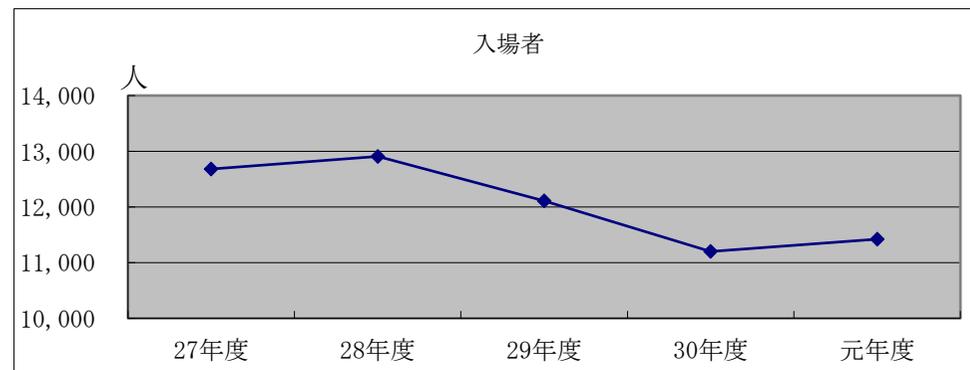
一

2 本場入場者数

区 分	令 和 元 年 度		平 成 3 0 年 度		前 年 度 対 比		
	4日間合計	1日平均	4日間合計	1日平均	4日間合計	1日平均	比 率
入場者数	11,421人	2,855人	11,199人	2,800人	222人	55人	1.98%

●小田原競輪開設70周年記念競輪入場者・売上比較（過去5箇年）

年	月日	曜	入場者	売上（円）	
				本場分売上	総売上
27	8/29	土	3,426	70,269,900	1,327,335,000
	8/30	日	3,061	72,539,000	1,629,128,600
	8/31	月	2,856	62,965,200	1,254,087,500
	9/1	火	3,336	80,178,900	1,560,695,900
	計		12,679	285,953,000	5,771,247,000
28	8/20	土	3,235	66,643,500	1,267,761,300
	8/21	日	3,671	76,048,700	1,597,999,200
	8/23	火	2,957	62,429,100	1,320,046,300
	8/24	水	3,044	69,318,400	1,470,749,600
	計		12,907	274,439,700	5,656,556,400
29	8/26	土	2,976	52,913,600	1,256,858,900
	8/27	日	3,225	67,538,800	1,511,492,300
	8/28	月	2,507	54,763,600	1,128,660,600
	8/29	火	3,403	79,226,800	1,409,627,700
	計		12,111	254,442,800	5,306,639,500
30	8/25	土	2,840	55,397,000	1,165,766,100
	8/26	日	2,907	61,879,600	1,470,644,700
	8/27	月	2,236	45,273,100	1,113,846,700
	8/28	火	3,216	68,175,800	1,407,501,600
	計		11,199	230,725,500	5,157,759,100
元	8/24	土	2,856	54,189,300	1,130,360,000
	8/25	日	3,126	60,423,100	1,413,961,200
	8/26	月	2,354	44,466,200	1,033,577,100
	8/27	火	3,085	65,604,400	1,299,157,900
	計		11,421	224,683,000	4,877,056,200



資料2

令和元年8月28日



小田原市長 加藤 憲一 様

小田原地下街運営評価委員会
委員長 押田 吉真



平成30年度小田原地下街「ハルネ小田原」の運営評価について（答申）

令和元年（2019）5月9日付け商第20号で諮問のあった平成30年度小田原地下街「ハルネ小田原」の運営評価について、当委員会の意見は別紙のとおりです。

平成 30 年度
小田原地下街「ハルネ小田原」
運営状況に関する意見書

令和元年（2019 年）8 月
小田原地下街運営評価委員会

目 次

I	小田原地下街再生計画コンセプト	1
II	平成 30 年度小田原地下街事業運営評価	
1	総括	1
2	個別評価	2
(1)	経営・施設運営関係	2
(2)	商業機能関係	4
(3)	公共・公益的機能関係	5
III	小田原地下街運営評価委員会	7

I 小田原地下街再生計画コンセプト

「Community Circle@小田原」

市民が主役となり市民力を発揮する場

地域の魅力を再編集&発信するコミュニティ空間

【3つの方向性】

■小田原の魅力の再発見（地域住民）と新発見（来街者）

小田原の隠れた魅力を「発掘」し、「編集」して「発信」する

■地下街から街なか・地域への回遊促進

小田原地下街で魅力・情報に触れ、街なか・地域で本物の体験をする

■「にぎわい」と「新たな価値」の創出

小田原地下街を通して、ヒト・モノ・コトが交流し、にぎわいと新しい価値を生む

II 平成30年度 小田原地下街事業 運営評価

1 総括

平成30年度のハルネ小田原の運営状況は、経営面において、過去最高を記録した平成29年度の実績に迫る売上を達成し前年度と同等の賃料収入を得たことで、2千万円を超える基金の積立が行われた。この結果は、地元客を中心に売上の基盤が築かれたことによるもので、経営の安定感が生まれつつあると考える。施設管理面においては、施設利用者の安全確保やリスク回避に重きを置いた修繕・点検の実施に当たり、老朽化に起因する突発的な修繕にも適切に対応していた。公共・公益機能面においては、館内イベントの利用希望が増加してきた点から徐々に施設の価値が認知されていることが伺えた。また、地域の商業者等が自発的に横の繋がりを作りイベント開催に至った事例は、施設とその価値が徐々に地域へ定着してきたことの表れであり、施設のコンセプトが新しい形で表現されたものと言える。

以上の点から、施設運営の全般において、地域への定着及び経営の安定化が伺え、順調な運営が図れているものと評価する。

一方で、早急な対応が求められるものとして、テナント区画等への設備投資や施設の老朽化に対する対策としての維持修繕予算の増額が挙げられる。また、今後の施設経営に向け、近隣の商環境の変化への対応は重要な課題と言える。短期的には、施設の立地特性を活かし、通行利用者の顧客化を進めることで売上の基盤強化に一層努めるべきと考える。中長期的には、これまで以上に民間事業者のノウハウが活かされる新たな運営手法を取り入れることも検討していただきたい。

開業から約5年が経過し、ハルネ小田原は地元客を中心に定着しつつある。今後は、小田原駅周辺の環境の変化を捉えながら観光客にも利用される施設を見据え、まずは、より地元客に親しまれる施設を目指していただきたい。

2 個別評価

(1) 経営・施設運営関係

ア 平成 30 年度小田原地下街事業特別会計決算額（見込み）

（単位：円）

項目	平成 30 年度	平成 29 年度	備考	
総 額	408,361,710	348,042,243		
歳入	賃料収入等	196,735,342	194,760,701	
	一般会計繰入金	185,956,940	116,402,339	
	（地下歩道等維持管理分）	(89,759,864)	(90,255,391)	
	（地域経済振興分）	(17,632,232)	(17,595,328)	
	（公債費部分）	(78,564,844)	(8,551,620)	
繰越金	25,669,428	36,879,203	基金積立金へ充当	
総 額	384,935,792	322,372,815		
歳出	商業的機能	165,205,556	160,979,810	
	公共・公益的機能	21,656,464	21,582,656	
	光熱水費	73,201,569	69,954,653	
	維持修繕費	14,386,994	15,400,797	
	公債費	78,564,844	8,551,620	
	公課費	4,367,200	7,234,700	消費税負担額
	基金積立金	25,702,414	36,669,107	
	その他	1,850,751	1,999,472	
	予備費	—	—	
歳入歳出差引（実質収支）	23,425,918	25,669,428		

イ 小田原地下街事業基金

（単位：円）

年度	積立・取崩額	運用利子	残高	備考
H25			20,541,243	H16 から積立
H26	0	15,233	20,556,476	
H27	5,889,676	10,394	26,456,546	
H28	24,983,787	18,564	51,458,897	
H29	36,644,203	24,904	88,128,004	
H30	25,669,428	32,986	113,830,418	
R1	23,425,918		137,256,336	見込み

【評価・意見】

① 収支

賃料収入等において、1億9,673万円余を達成し、2千万円を超える黒字収支を達成した。これまでの推移から徐々に経営の安定感が生まれつつあると評価できる。

② テナント区画

収支への影響や消費者に与える印象から、空き区画を長期化させない経営努力が求められる。出店者の募集は、地元出店者に限らず幅広く当たり、安定的な賃料収入が得られるよう取り組むべきと考える。また、様々な業種・業態が営業できるようテナント区画等の設備投資についても検討し、出店募集の間口を広げていくことも必要である。

③ 維持修繕

施設利用者の安全確保や営業上のリスク回避を重視しながら、限られた予算内で適切な維持修繕にあたっている。老朽化に起因する設備等の突発的な故障や事故の発生は、営業が困難な状況を招く恐れがあるとともに維持修繕の年間予算額を圧迫し、維持修繕の計画的な執行にも悪影響を及ぼすことが危惧される。ハルネ小田原は、一部の設備等を前身から引き継いでいることから、設備等の更新の重要性は高いと言え、維持修繕に係る予算額の増額についても早急に検討する必要がある。

④ 危機管理

地震や火災などの緊急時において、被害を発生させない、あるいは最小限に食い止めるためには、適切な初期対応が極めて重要である。施設利用者から最も身近なショップスタッフ等に対し、訓練等を通じて、これまで以上に危機管理意識の醸成と危機対応力の向上に励み、施設利用者の安全の確保に努めていただきたい。

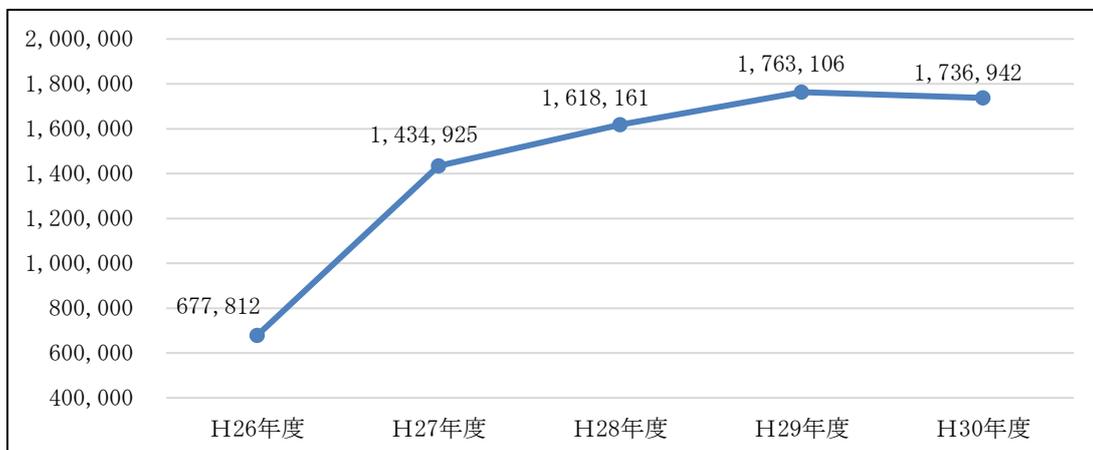
⑤ 新たな運営手法

小田原駅東口お城通り地区再開発事業をはじめとする商環境の変化が目前に控えている。こうした変化の中にあっても、着実な進歩を遂げていくため、民間事業者の活力を生かした新たな運営手法についても検討していただきたい。

(2) 商業機能関係

ア 売上の推移

(単位：千円)



イ 売上・客数

		平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
売上 (単位：円)	純売上額	1,736,942,440	1,763,106,826	1,618,161,487
	前年度比	98.5%	109.0%	112.8%
客数 (単位：人)	レジ客数	1,578,527	1,646,002	1,558,094
	前年度比	95.9%	105.6%	111.0%

ウ 来館者の居住地

小田原市内			県内市外			県外
全体	上位 5 地区		全体	上位 5 地区		その他
59.4%	城山	5.5%	32.8%	秦野市	5.5%	7.8%
	浜町	5.2%		南足柄市	4.2%	
	栄町	4.5%		湯河原町	3.9%	
	扇町	4.2%		箱根町	3.6%	
	久野	3.6%		開成町	2.3%	

※顧客利用実態調査（平成 30 年 9 月実施） 全 308 サンプルに占める割合

【評価・意見】

① 売上

夏場の記録的な猛暑をはじめ、売上に影響を及ぼす悪条件が重なった中でも、過去最大の売上を達成した平成 29 年度の実績に迫る 17 億 3,694 万円余の売上を達成した。複数年の売上額の推移及び顧客利用実態調査の結果から地元客を中心に売上の基盤が築かれており、顧客の定着化が伺える。更に売上を伸ばしていくためには、通り抜け目的の来館者の顧客化を進めるとともに購買サイクルが短く、日常的な買い物の需要が満たされる商品構成や店舗の展開が求められる。

② 販売促進

委託業者（湘南ステーションビル株）が持つコネクションも活用し、販売促進の一環としての集客イベントの開催にも取り組んでいる。アニメキャラクターとの記念撮影会など流行を取り入れた内容は反響も大きく、新たな客層の開拓にも一定の効果が認められる。集客イベントは偏りなく幅広いジャンルを取り上げていくことが肝要であり、魅力的な企画は来店を動機付けるとともに消費者に好印象を与えることにも繋がり、継続的に取り組むことで顧客の獲得や売上の向上にも資すると考える。

③ 商環境の変化

今後見込まれる商環境の変化において、外国人を含めた観光客の流動の増加が期待されることから、観光需要を取り込む方策の検討にあたっていく必要がある。観光客は、その地域に暮らす人から親しまれ賑わっている場所を求める傾向があることから、地元客を主な客層とするハルネ小田原の特性を活かして、地元客から親しまれながら観光客も訪れたい施設を目指していくべきと考える。また、インバウンド対応において、SNSを活用した情報発信や外国語表記の充実などの環境整備についても引き続き取り組んでいただきたい。

(3) 公共・公益的機能関係

ア サービス利用件数

(単位：件)

	項目	平成 30 年度	平成 29 年度	前年度比
街かど案内所	観光・まち歩き案内	3,498	5,224	67.0%
	店舗・商店街案内	7,143	8,405	85.0%
	交通・乗換案内	7,553	9,468	79.8%
	館内インフォメーション	12,565	15,250	82.4%
	各種チケット販売	5,516	3,773	146.2%
手ぶら観光センター	手荷物預かり	4,316	5,785	74.6%
	手荷物配送 (⇒当日宿泊施設)	994	1,008	98.6%
	宅配便	5,729	4,173	137.3%
合計		47,314	53,086	89.1%

※手ぶら観光センターは、平成 28 年 9 月 16 日にオープン。それ以前は街かど案内所にて取扱い。

イ 館内イベント (平成 30 年度実施分)



祭りだ！木遣りだ！小田原流！



白秋童謡 100 年ハルネコンサート



大相撲小田原場所開催記念イベント



小田原箱根大博覧会 OP イベント



相模人形芝居下中座公演



木・技・匠の祭典



小田原駅まつり



おだわらパンまつり



自家焙煎珈琲まつり

年間で全 179 件を実施 [地域振興：49 件、誘客：30 件、販売促進 54 件、その他 46 件]

ウ ギャラリー展示（平成 30 年度実施分）

※全 7 件

展示名称	期間
小田原生まれの俳人 藤田湘子に寄せて	H30. 4. 6～5. 11
シーズン開幕記念 湘南ベルマーレフットサルクラブ展	H30. 5. 12～7. 20
「小田原のチカラ」写真展	H30. 7. 21～9. 28
城下町おだわらツデーマーチ 20 年の歩み	H30. 9. 29～11. 8
小田原「街かど博物館」展	H30. 11. 9～H31. 1. 18
十字町ヒストリア展	H31. 1. 19～3. 20
生命の星・地球博物館の裏側展	H31. 3. 21～R1. 5. 17

【評価・意見】

① インフォメーション・サービス

街かど案内所及び手ぶら観光センターで提供されるサービスは、施設のコンセプトにある「地下街から街なか・地域への回遊促進」を具体化する取組として評価できる。これらのサービスは、観光の利便性を高める内容となっており、観光客を誘引するコンテンツの一つとなっていくことが期待される。なお、観光客の満足度を高めるためにも、サービス内容はハルネ小田原を含めた駅周辺一体で捉える必要があり、館外のサービス提供状況も参考にしながら、今後の在り方について検討していただきたい。

② 館内イベント

通行利用者が多い施設の特性を活かして各種イベントの開催に取り組んでいる。こうした取組により、施設の価値が徐々に外部のイベント主催者にも浸透してきたことで、利用希望の増加が見受けられる。また、地域の商業者等が自発的に同業種の横の繋がりを作りつつ、新たなイベントを立ち上げる場として利用される事例があった。このような動きは、地域経済の活性化とコミュニティの醸成のいずれにも通じ、施設のコンセプトが具体化されたものと言える。加えて、こうした地域の商業者も参加した物販企画には、館内のテナント出店者も参加しており公共公益的な目的の取組でありながら、販売促進の面にも波及するよう取り組んでいた点は評価できる。

③ ギャラリー展示

ハルネギャラリーで展開される展示企画については、SNSを活用した情報発信の取組を開始し一定の改善努力が伺えるものの、人通りの少ない立地への集客が依然として課題となっている。施設のコンセプトに合致する魅力的な展示企画を開催しながら、引き続き、周知活動にあたりとともに多くの地域住民が関わる企画など関係者の来館を直接的に促す手法も取り入れながら、これまで以上に地域住民から親しまれる場となるよう取り組んでいただきたい。

Ⅲ 小田原地下街運営評価委員会

(1) 委員名簿

◎委員長 ○副委員長

氏 名	所 属 等
◎押田 吉真	税理士・税理士法人押田会計事務所 代表社員
○添野 好一	株式会社浜銀総合研究所 地域戦略研究部 副部長
玉田 泉	丸の内ハウス 統括マネージャー
八木下 美帆	弁護士・弁護士法人小田原三の丸法律事務所
湯川 恵子	神奈川大学経営学部国際経営学科 准教授

※任期：平成30年10月14日～令和2年10月13日

(2) 開催状況（前年度の答申の提出（H30.8.27）以降）

会議／年月日	内 容
平成30年度第3回会議 (平成31年2月12日)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長及び副委員長の選任について ・小田原地下街「ハルネ小田原」の運営状況について ・小田原地下街「ハルネ小田原」の今後の運営について
令和元年5月9日	実施機関から諮問書「平成30年度小田原地下街「ハルネ小田原」の運営評価について」を受理。
令和元年度第1回会議 (令和元年5月17日)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度小田原地下街「ハルネ小田原」の運営評価について
令和元年度第2回会議 (令和元年7月19日)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度小田原地下街「ハルネ小田原」の運営評価に関する答申（案）について

平成 30 年度 小田原地下街「ハルネ小田原」運営状況に関する意見書

令和元年（2019 年）8 月

小田原地下街運営評価委員会

市民ホール整備におけるにぎわい廊の進捗状況について

1 目的・機能

平成 30 年度に策定された「三の丸地区の整備構想」では、三の丸地区の役割を「観光交流の促進と回遊性の向上」「滞留空間の形成と市民ホールの連携」「歴史・文化と賑わいが調和したまちなみの形成」としている。

にぎわい廊（観光交流センター）は、小田原城正規登城ルート of の玄関口となる馬出門の目の前という立地条件を最大限に活かし、小田原城を遠望できるガイダンス施設とするとともに、カフェを併設した歴史や周辺エリアへの回遊を促す情報を発信する文化・観光交流施設とする。

- ・小田原城の魅力を伝えるガイダンス
- ・周辺スポットや飲食、ショッピング情報のインフォメーション
- ・体験プログラムの開発や荷物預かりサービス
- ・地場製品の PR や歴史・文化イベントの開催
- ・レンタサイクルや観光ガイドツアー、移動・宿泊支援

2 検討状況等について

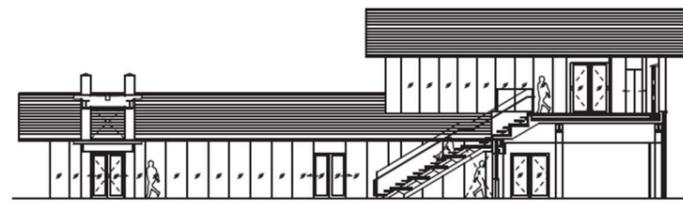
	平成 30 年度						令和元年度								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
施設整備	基本計画・基本設計						実施設計・内装設計								
管理運営	機能等検討		事業規模、事業内容及び管理運営手法の検討												
財源確保	調整・申請						●	調整・申請							
	社会資本整備総合交付金等						内示								

3 今後のスケジュール（予定）

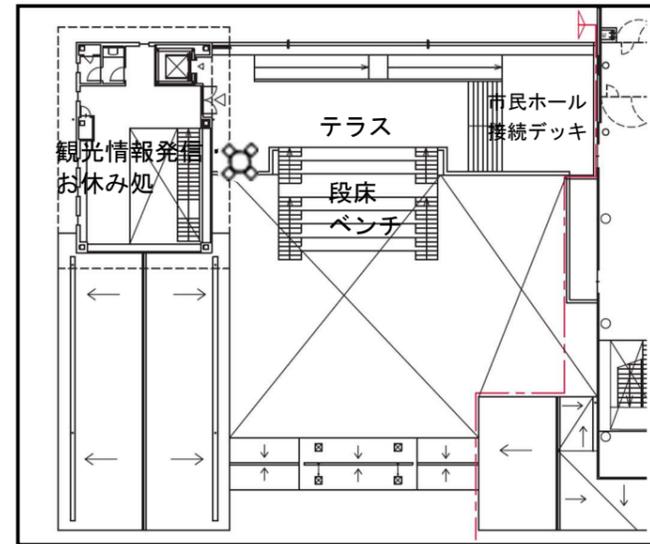
	令和元年度					令和 2 年度										令和3年度		
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
施設整備	内装設計		本体工事										内装工事等					
	● 本体工事費補正予算上程		● 内装工事費等当初予算上程															
管理運営	● 設置条例パブリックコメント		● 関連条例議案の上程										指定管理者の選定・指定		開館準備・従業員研修		● 指定管理開始	● オープン

施設整備の概要

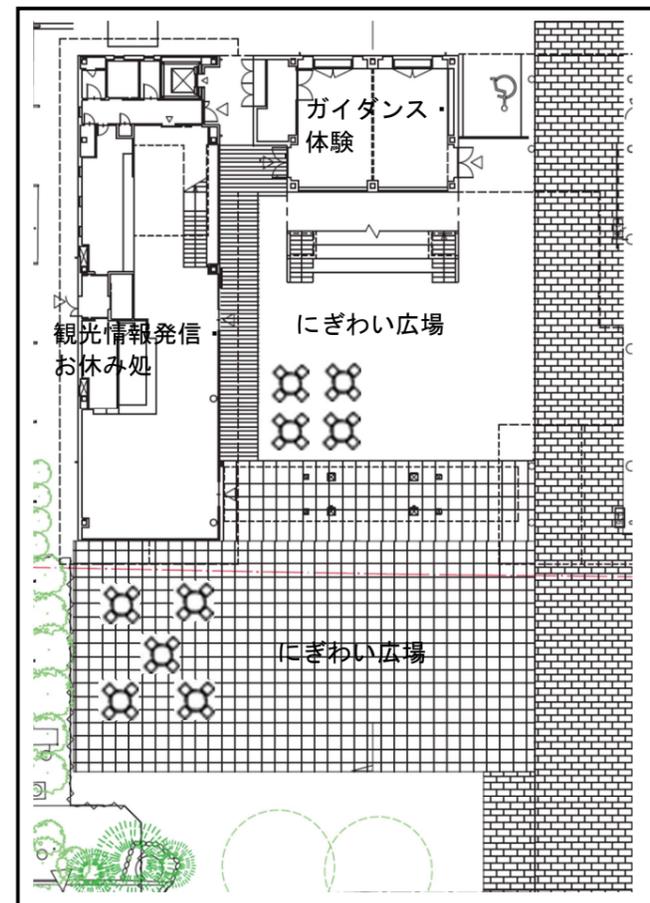
- 敷地面積：約 1,600 m²
- 構造形式：鉄骨造地上2階建て
- 延床面積：約 450 m²



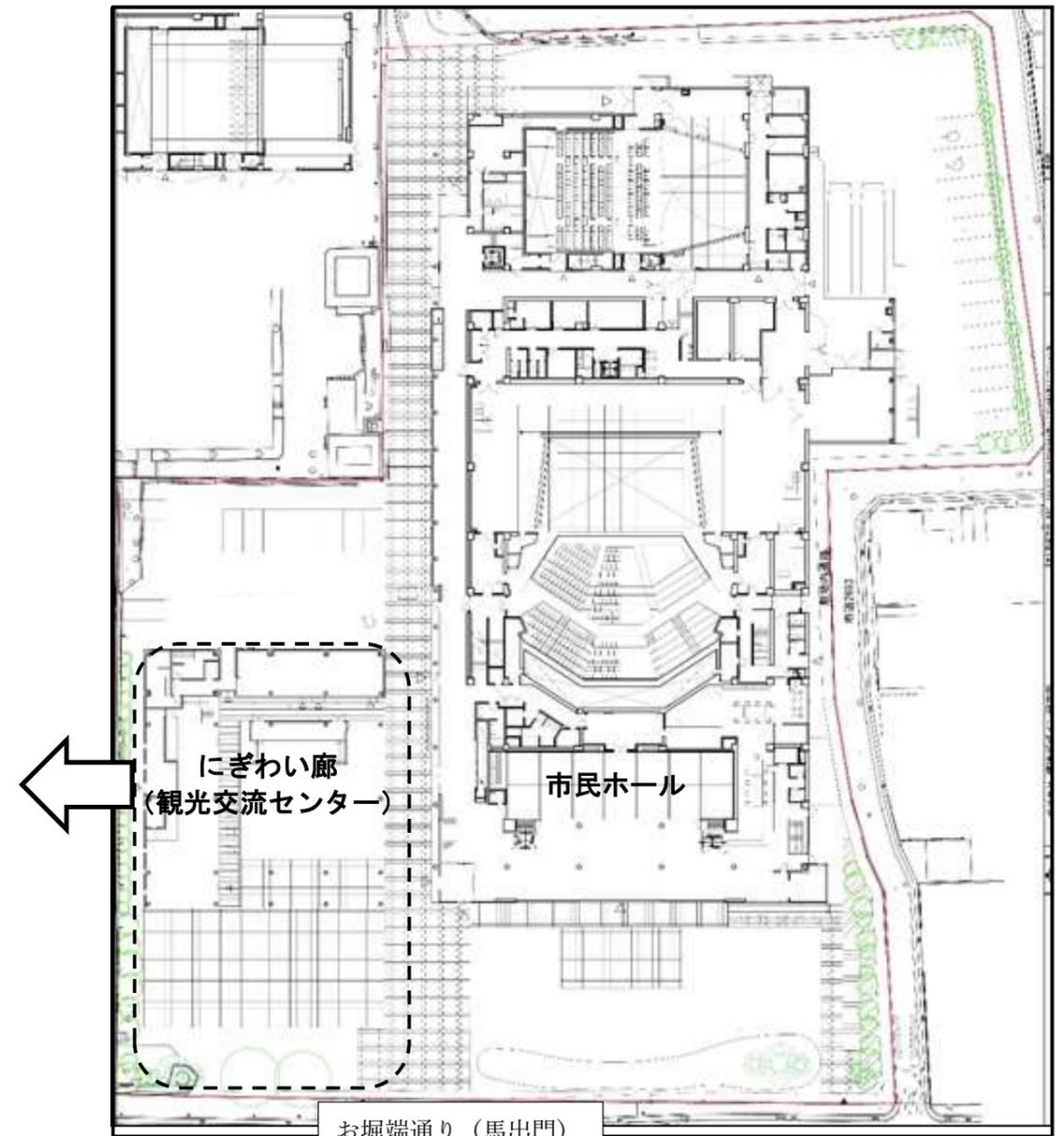
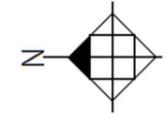
にぎわい廊東西断面図



にぎわい廊2階平面図



にぎわい廊1階平面図



お堀端通り (馬出門)

市民ホールとにぎわい廊配置図

北条早雲公顕彰五百年事業等について

1 北条早雲公顕彰五百年事業について

(1) 実施主体

北条早雲公顕彰五百年事業実行委員会

(2) 令和元年度事業の概要

ア 早雲公五百年忌献茶式

早雲公を偲び、北条氏の菩提寺である早雲寺で献茶式を実施。

- ・期 日 : 令和元年5月2日(木・祝)
- ・場 所 : 早雲寺(箱根町湯本)
- ・参加者数: 約100名(北条五代観光推進協議会の首長も参加)

イ シンポジウム「小田原北条氏とその城郭」

小田原北条氏を身近に感じられるシンポジウムとして、お城好き落語家の春風亭昇太師匠や歴史家などによるお城シンポジウムを実施。

- ・期 日 : 令和元年5月2日(木・祝)
- ・場 所 : 小田原市民会館大ホール
- ・参加者数: 約700名

ウ 特別企画「伊勢宗瑞～漫画家と歴史家が語る北条早雲～」

北条氏を描く漫画家と歴史家それぞれの視点から小田原北条氏と小田原を語る講演会を実施。

- ・期 日 : 令和元年9月1日(日)
- ・場 所 : 小田原市民会館大ホール
- ・参加者数: 約500名

エ プロジェクションマッピング世界大会 in 小田原城

小田原城天守閣をスクリーンとしたプロジェクションマッピングの国際祭典を「夢/DREAM」をテーマに行い、世界に本市をPRする。1分から1分59秒の21作品を上映し、4日間で10公演する。

- ・期 日 : 令和元年9月20日(金)～23日(月・祝)
- ・場 所 : 小田原城址公園本丸広場
- ・エントリー数: 世界43の国と地域から177エントリー
- ・同時開催: 天守閣内のプロジェクションマッピング(9/13～10/6)
食の祭典(9/20～9/23 二の丸広場、銅門広場)
ラグビーワールドカップのパブリックビューイング(9/21)

オ クロージングイベント

- ・期 日 : 令和元年12月上旬
- ・場 所 : 小田原城址公園本丸広場

カ 「(仮)小田原北条氏の歴史」刊行(令和元年12月予定)

(3) その他事業の概要

- ア 小田原北条セミナー（全6回連続セミナー）
- イ 北条パスポートスタンプラリー
- ウ オリジナル商品、冊子等の制作
- エ 支城イベント・相甲駿三国連携事業
- オ SNS等を活用したプロモーション事業

2 早川臨時観光案内所の開設について

(1) 目的

TOTOCO 小田原の開業に合わせ、特に観光客の多い土曜、日曜、祝日に案内所を開設し、観光案内のほか、観光ガイドも行い、TOTOCO 小田原や小田原漁港だけでなく、周辺の観光スポットなどへの観光客の回遊性を促進する。

(2) 概要

- ア 開設日：10月5日（土）
- イ 営業日：土曜・日曜・祝日（12月31日及び1月1日は除く）
- ウ 営業時間：観光案内所 午前9時30分～午後4時
レンタサイクル 午前9時30分～午後3時30分
（最終貸出は午後3時）
- エ 業務内容：①観光案内業務
②ガイド業務
③レンタサイクル業務

3 訪日外国人等受入環境整備事業について

(1) 概要

当該事業は地方創生推進交付金を活用し、外国人をはじめとする来訪者を主なターゲットとし、地域観光をトータルでマネジメントし、ワンストップで様々なサービスの提供や効果的な情報発信を行うことを目的としている。主体は地域DMOである（一社）小田原市観光協会が中心となり、新たにDMC組織となる「（株）小田原ツーリズム」を設立。観光コンテンツの磨き上げ、回遊性の向上、人を呼び込む仕組みづくりなどについて積極的に取り組むことにより、来訪者増加と、新たな消費誘発により、地域経済の活性化を図る。

(2) 令和元年度事業内容

- ア 地魚・農産物の商品開発
- イ 伝統芸能体験プログラムの商品開発
- ウ インバウンドメニューの企画開発
- エ 情報発信・PR
- オ 接遇強化

「プロジェクションマッピング世界大会 in 小田原城」上映作品一覧

1 ファイナリスト

作品数：19作品

国籍数：18か国

(コスタリカ、タイ、インド、スペイン、ルーマニア、セルビア、マレーシア、ウクライナ、ロシア、メキシコ、ドイツ、カナダ、チェコ、コロンビア、ベルギー、インドネシア、中国、日本)

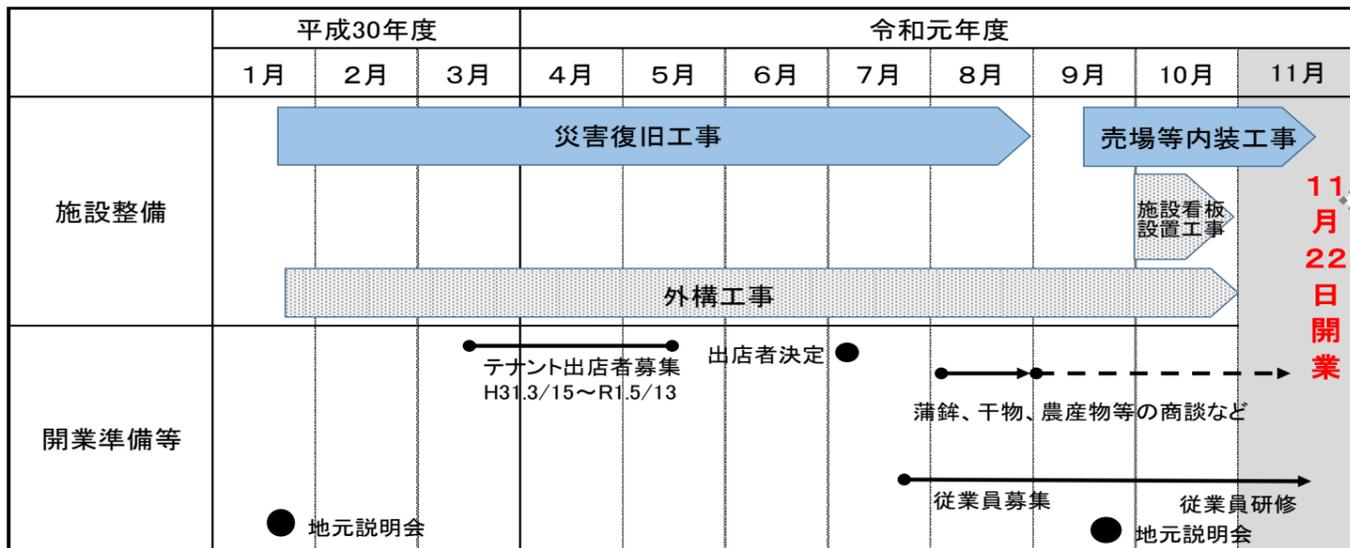


2 その他

招待作家のスペシャル作品上映：2作品（フランス、中国）

小田原漁港交流促進施設の開業等について

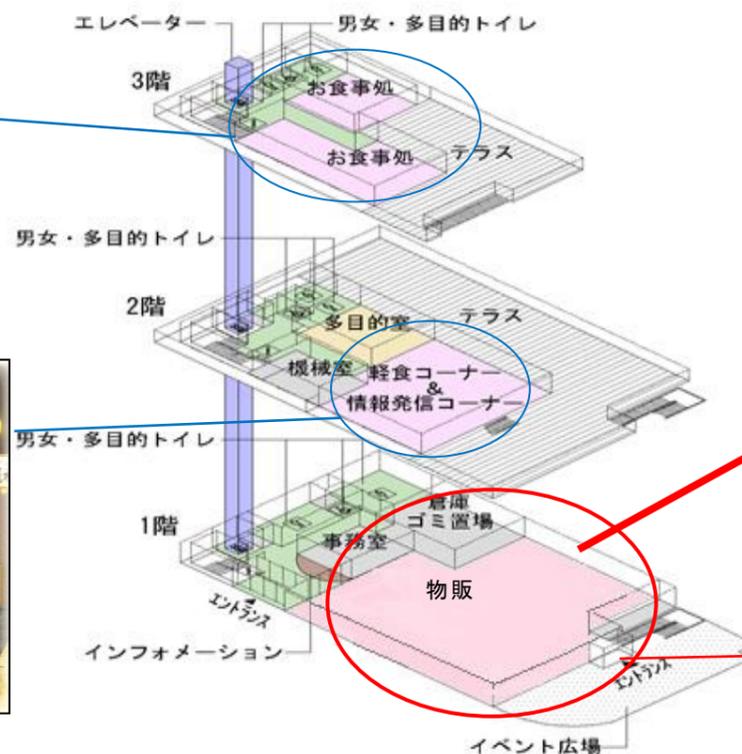
1 小田原漁港交流促進施設事業スケジュール



【開業に係るスケジュール及び実施内容】

令和元年度	11月18日 (月)	市議会議員等を対象に施設内覧会を予定
	21日 (木)	プレス・メディア向け内覧会
		プレオープン (地元住民向け販売会)
22日 (金)	開業記念式典、グランドオープン、水産振興イベント等	

《参考》 売場等のイメージ (高知市「ひろめ市場」のような雰囲気づくりを目指す)



1階物販エリア平面図



2 西湘バイパス耐震補強工事について

【背景】

国土交通省は、平成 28 年 4 月の熊本地震において高速道路の橋梁の損傷等で緊急輸送等に大きな支障を及ぼしたことを受け、緊急輸送道路等の重要な橋について、被災後速やかに道路としての機能回復できるよう耐震補強を加速化することとした。

【工事対象区間】

西湘バイパスの耐震補強対象橋梁は早川インターチェンジから石橋インターチェンジまでで、国交省が策定した耐震化事業計画において『当面 5 年間に対策を講じる重点路線』に該当している。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
NEXCO 中日本	4月 熊本地震発生 (国交省)事業計画策定	3月 事業認可		① 工事区間(R1.10月~R4.4月) 西湘早川橋・早川Aランプ橋・早川Bランプ橋 6月 NEXCO ⇒ 県・市への情報提供		② 工事区間(R2.第2四半期~24か月) 小田原港橋・小田原高架橋・横磯橋	
県・市		早川海岸整備(事業主体:県)		11月 交流促進施設開業 事業期間: H29年度~R2年度(予定)		施設稼働	

【工事箇所図】



《参考》 耐震補強イメージ

